

及ニ工場令部忘書ノ状記トナリニ元暴少ノ旨迄  
若ノ可ハカ無カリシカニ段一時決ニ至リ一旦解散  
ニ居タル電氣鑄物ノ令職工千二百八再ヒ令工場  
内空地ニ集合候儀ノ結果退場ト決シタルニ  
如ク表門ヨリ中内ニ入度可キ年仙樂却ニ  
カ他心ノ投喊声ヲ揚ケテ、澁川勸業館ニ至リ  
秘密會ヲ開キテ元事項ヲ協議決定シ再  
令工場ニ押寄セテ威運部ヲおセリ  
正午令社造船仕上工場元造機匠具工場  
野倉、須々木ノ職者職工報告演説ヲおシ更ニ  
ニ菱造船所職工約八十名ノ一隊再ヒ本社  
傍間ニテ威運部ニ努メタルカ電氣丸部解雇  
職工友友ノ會食青柿甚一部以下六名ハ午後

青柿

ニ時を設ト令見解身ヲ自由ニ結問カシテ  
リテ秋勢愈々陰悪ナラントシ時令新  
也ニ職工中ニ青柿ヲ樹ケタルヲ現ハレ職工ノ  
威運部ヲ遮ラントシタルヲ以テ之ヲ一部ノ職工ハ  
畏怖シ目的ヲ達スル能ハカリテ而シテ以青柿組  
ハ平素ペンシ組配下ニ屬スル也然レ漢ニシテ日下  
組織セド奔走中ノ玉料會ノ堂立テト元認ムル  
造船工作部臨時人吏長福組松尾組各部ノ配  
下ナルヲ如ク右ノ青柿組ニテ一時他止セラレテ  
生門ニ威運部ノ生米甘トヲ以テ工場内ニ於テハ  
亦威運部ヲシテ居リニ多敷ク時ニ工場セトスル  
除録ニ青柿退下職工トノ旨ニ由競合ヨリ双方  
4 数名ノ負傷者ヲ生シタルカ力立レカカ職工側激